地域名	座間味村
事業主体	座間味村商工会
参画団体	【公的機関】 座間味村、座間味村商工会 【民間企業等】 (株)トータルマネージメント沖縄、民宿艪便村、のぎく、(株)21・ざまみ
活用する 地域資源	【現在活用を推進している地域資源】 無農薬畑と畑で働く人々 【今後活用を推進したい地域資源】 島の歴史や日常生活、海と島人の関わりなどを地域ツーリズムと位置づけた、新たな観光メニューとして、見る観光ではなく交流する観光資源を推進していきたい。
これまでの活動内容	平成19年、地域資源調査活用事業(報告資料別添)を実施し、野草生息状況 調査や活用方法等(野草カード20種類製作し各民宿へ配布)を調査し島の魅力を改めて実感できた。その際に野草を活用した新たな島オリジナルメニューの開発(講習会を開催し27名参加)も出来た。しかし農作物や宿のメインメニューになる食材等が島内産ではなく沖縄本島より取り寄せる事がいまだ解決できない状況である。 【事業実施体制図】 地域ツーリズム資源調査事業 目的 対内の農作物状況を調査し、収穫物の村内需要に対する販売ルートの検討と観光に活用できる農業の可能性を調査するを目的とする。又、以前にブランド開発事業で完成したローゼルジャムの原料であるローゼル(ハイビスカスの一種)競中の普及も進め、特産品の生産力向上も検討する。 大田の財命事業所 現代 現代 現代 現代 現代 現代 現代 現

	地域プランド形成に向けた活動紹介 【座間味村商工会】
今後の課題 や活動計画	今回の事業で村内の農作物状況を把握し、販売ルートの検討と観光に活用できる農業の可能性を調査する必要があると考えられる。 更に昨年の野草研究資料と連携させ新たな観光メニュー開発に向けて、次年度 取組み予定の新規事業創出の基盤整備を今から取組む必要がある。
行政の支援	【国】 平成20年度 「小規模事業者新事業全国展開支援事業」 【県】 【市町村】 【その他】
その他	【慶良間特産品マーク】 「慶良間の世界」のシンボルマークは慶良間に生活する住民の想いが込められたブランドの証です。
連絡先等	座間味村商工会 電話番号: 0 9 8 - 8 9 6 - 4 3 2 1 ホームページ <u>http://www.zamami.or.jp/</u>